

評価対象概要シート

1 日 目

評価項目 (評価対象事業)	3 すぎなみ環境情報館	
事務事業/ 担当部課	あんさんぶる菰窪の維持運営	環境清掃部環境都市推進課
上位施策名	環境配慮行動の推進	
目的・目標	すぎなみ環境情報館を拠点として、環境やりサイクルに対する区民の理解と関心を深め、環境配慮行動を推進する。	
事業の内容	<p>1 NPOによる事業展開と施設運営 すぎなみ環境情報館は、平成16年度に設置し、現在、NPOに運営委託し、各種事業の実施や団体への支援活動を実施している。 また、区の職員を配置し、団体との連絡調整や特定業務に従事させるとともに、区民等との協働による「環境博覧会」の開催などを担当している。</p> <p>2 区民の活動拠点としての機能 区内環境団体は、約40団体存在しており、定期的に学習会や連絡会、講座などを開催するとともに、各団体が連絡会を組織し、ネットワーク化を進めるなど、地域での裾野を広げる取組みに努めている。</p> <p>3 区民への情報発信 ホームページや広報、資料コーナーなどを活用し、広く環境に関する情報を発信するとともに、調査研究などに必要な資料提供に努めている。</p>	
課題と改善・ 見直しの方向	<p>1 課題</p> <p>①事業活動の硬直化の傾向 環境情報館は、設置から8年が経過し、NPOの努力もあり、確実に地域に定着してきているが、一方で、取組内容の硬直化や旧態化が危惧されるとともに、必ずしも施設機能が十分に発揮されているとは言えない現状がある。</p> <p>②運営方法における役割分担のあり方 環境情報館の運営については、委託業務と区の直営業務が混在するとともに、区の配置職員の役割や業務の位置付け等が必ずしも明確ではなく、事業主体相互の役割分担のあり方を見直す必要がある。</p> <p>2 改善・見直しの方向</p> <p>①特色ある事業展開 環境情報館が、時代の変化を踏まえ、社会的課題に対しても区民の理解と関心を深め、地域の期待や要望に応えていけるよう、特色ある新たな事業展開や区民の活動支援のあり方などについて、関係者との協議を進める。</p> <p>②執行方法の効率化 新たな公共の観点から、可能な限り運営を地域の手に乗せるとともに、行政との役割分担を明確にしていくため、委託業務の範囲や内容を見直す。 併せて、職員配置についても、職務実態に即して効率化を図る。</p>	

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		あんさんぶる荻窪の維持運営		款	6	項	1	目	4	事業	8	整理番号	471						
担当部課名		環境清掃部環境都市推進課		係名	すぎなみ環境情報館		連絡先電話番号	3398-3195		昨年度整理番号	470								
上位施策No・施策名		18 環境配慮行動の推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	16	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 施設を利用する区民・環境団体・その他団体・事業者など																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区民が環境情報館を活用して、環境配慮行動を行えるよう啓発する。 ○環境団体等が、自発的に講座・講演会などを開催し、環境配慮行動を広める活動を行う。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○すぎなみ環境情報館を区民、団体、事業者などの環境に関する情報収集や情報交換、政策提言等の環境活動の場の提供を行うとともに情報発信の場としていく。 ○あんさんぶる荻窪の安心、安全な施設運営管理を行う。																	
根拠法令等		(1) 杉並区立すぎなみ環境情報館条例 (2) 杉並区立すぎなみ環境情報館条例規則																	
活動指標名(式)		(1) 環境学習室の利用回数 (2) 環境団体登録数																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		環境学習室の年間利用率																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)																			
算定式・指標の説明等																			
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	回	918	1000	889	1000	879	1000	87.9									
	活動指標(2)	②	団体	37	39	39	40	40	40	100.0									
	成果指標(1)	③	%	85.6	95.0	82.7	95.0	81.8	95.0	86.1									
	成果指標(2)	④																	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	27,941	28,024	26,195	26,613	25,614	73,266	22年度予算執行率%		96.2							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	22,574	23,374	22,808	23,302	22,992	31,527										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.20 0.70	0.30 0.50	0.30 0.50	0.00 1.80	0.00 1.80	0.00 1.80										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,860	2,664	2,664	0	0	0									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,960	1,397	1,397	5,310	5,310	5,310									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	40,761	32,085	30,256	31,923	30,924	78,576										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	44,402	32,085	34,034	31,923	35,181	78,576										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0									
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	40,761	32,085	30,256	31,923	30,924	78,576										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 471

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			あんさんぶる荻窪の維持管理(執)		
		すぎなみ環境情報館の事業運営(執)			15,254
		その他 ()			0
	(2)事業実績	環境情報館で実施する講座等の回数、参加者は前年度とほぼ同程度となっています。また、環境学習室の本来の目的である環境活動のための利用は全体の約3割で、残りは目的外使用となっています。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	すぎなみ環境情報館開館時は、地球温暖化などの地球環境問題に社会的な関心が寄せられていたが、東日本大震災を契機に、基幹エネルギーの見直しや放射能汚染問題がより重要視されています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、社会的な関心を集めている再生可能エネルギーや放射能問題に関する講演会の開催を期待する声が寄せられています。
	今後の予測	エネルギー問題等、社会的な注目を集めている課題について、すぎなみ環境情報館が積極的に区民に情報発信をすることが求められます。
	評価と課題	すぎなみ環境情報館において、地域の環境団体に委託して開催している講座や講演会は概ね好評ですが、内容が固定化する傾向があるため、より魅力ある、時代に即した講座等の開催をめざして、委託先と協議を進め、工夫をすることが必要です。 また、現在、すぎなみ環境情報館では、区の再任用職員、非常勤職員による直営部門による管理運営と地域の環境団体への委託による環境講座等の事業運営、貸室業務が行われており、今後、役割分担の見直しを行い、より効果的・効率的な運営を検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	すぎなみ環境情報館が時代の変化を踏まえ、社会的課題に対しても区民の理解と関心を深め、地域の期待や要望に応えていけるよう、特色ある新たな事業展開や区民の活動支援のあり方について、関係者と協議を進める必要があります。また、新しい公共の観点から、可能な限り、運営を地域の手になねるとともに、行政と地域の環境団体との役割分担を明確にしていけるため、委託業務の範囲や内容の見直しを行い、併せて、職員配置についても職務実態に即して効率化を図っていきます。		

特記事項	
------	--

すぎなみ環境情報館

1 施設の概要

区分	概要
所在地	杉並区荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪(複合施設) 3階の一部・4階・屋上
開館時間	年末年始を除く毎日8:30~22:00
諸室 付帯 設備等	環境学習室、情報資料コーナー(図書、ビデオ、AV機器等) 貸出用備品(待機電力計、電磁波測定器、騒音計等) ビオトープ、雨水利用(トイレ洗浄、ビオトープ水位調節) 屋上(庭園、スロープ) ※太陽光発電機器、風力発電機器、気象観測システム、 太陽熱給湯器パネル(見学随時可)



【環境情報館の外観】

2 環境学習室



【環境学習室】

テレビ、ビデオ、DVDを設置した環境学習や環境団体等のための部屋
講演会なども開催
定員:30名

3 情報資料コーナー

図書 約5,000冊、ビデオ等 約110本
図書やビデオ等の閲覧や貸出
グループで集えるコーナー設置



【情報資料コーナー】

4 ビオトープ



ボランティアにより手入れされているビオトープには、メダカをはじめ、さまざまな生物が暮らしています。

5 屋上（庭園、スロープ）

ボランティアにより手入れされている
屋上の庭園と、1階までのスロープ

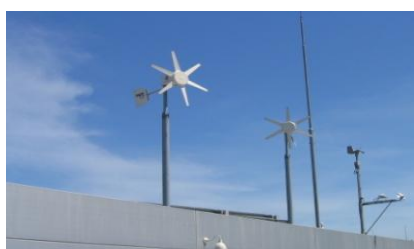


6 見学可能な機器



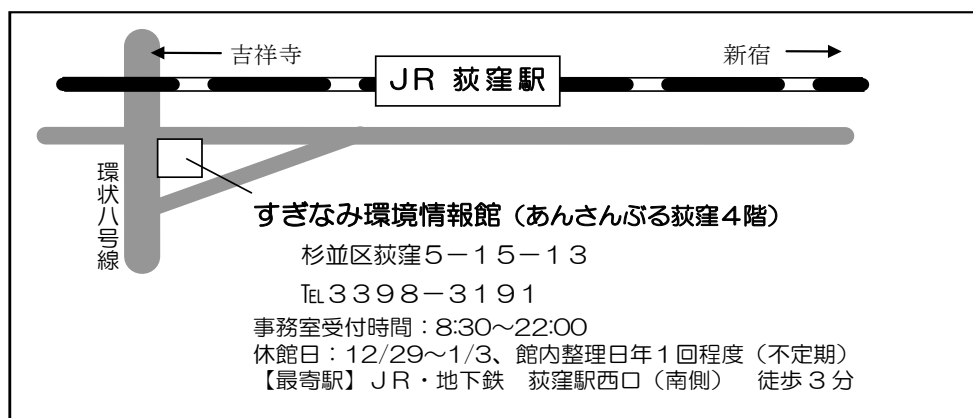
〈太陽光発電機器〉

- ・発電容量 5.02kW
- ・あんさんぶる荻窪全体の電力使用量の約1%に相当する年間約5,200kWhを発電し、ビオトープの水を循環させるポンプを動かしています。



〈風力発電機器〉

- ・発電容量 72W(風速12m/h)
- ・年間発電量約5kWh
- ・屋上のフラッシュライトに使用しています。



すぎなみ環境情報館運営の概要

区分	執行体制・経費	委託業務の範囲
（施設管理を含む） 委託事業	NPO配置スタッフ ローテーション非常勤32名 （常時12名程度） 委託料（人件費・事業費） 1,450万円	環境配慮行動の推進のため、環境・リサイクルに関する総合拠点（条例） 1 普及啓発事業の企画運営 2 簡易相談事業 3 ネットワークの形成支援 4 貸室等受付業務
杉並区の事業	職員配置数 3名 【内訳】 再任用1名 再雇用1名 パート1名	担当事務 1 環境団体との連絡調整 2 環境博覧会の実施 3 広報・公式ホームページの管理 4 施設維持管理業務 5 自然環境調査の実施 6 その他
	総人件費 約800万円	
	維持管理費 約750万円 （平成22年度決算ベース）	

すぎなみ環境情報館の事業実績

主な事業区分		16年度（開設）	20年度	21年度	22年度
登録団体数		23団体	37団体	39団体	40団体
講座		1,365名 (108回)	959名 (49回)	955名 (52回)	1,044名 (50回)
講演会		234名 (7回)	290名 (8回)	206名 (5回)	97名 (3回)
自然観察会		137名 (4回)	151名 (4回)	99名 (2回)	176名 (5回)
学校支援 (指導生徒数・校数)		4,429名 (79校)	5,958名 (63校)	4,488名 (62校)	5,154名 (71校)
資料貸出件数		995件	516件	566件	524件
学習室	環境活動	347回	273回	271回	273回
利用状況	一般利用	313回 (277,690円)	645回 (573,380円)	618回 (549,575円)	606回 (539,610円)